

〔取組区分〕

人材確保

〔事業分野〕

倉庫（トラック）

〔実施主体〕

事業者

〔対象者〕

従業員・求職者

企業主導型保育園の設置による従業員の福利厚生の上・人材確保の推進 松葉倉庫(株)（松葉倉庫運輸(株)）静岡県藤枝市

■取組の目的

若い世代の採用を推進して行く中で、結婚・出産・育児というニーズが出てきた。特に若い女性社員の定着と早期復帰を実現することを検討して行く中で、会社創立50周年を契機に地域貢献の一環として企業主導型保育園を設置し、自社従業員の福利厚生の充実、新規人材の確保はもとより、地域への貢献、近隣企業（特に物流業）との連携を意識していく事で、社会や業界の課題を自社の課題と捉え、会社の経営理念でもある「社会との共生」を実現するため本取り組みを決断した。

■取組の概要

本社倉庫横の施設を大規模改修し、「会社の隣、会社の近く、通勤の途中」をコンセプトに、自社従業員のみならず近隣地域、近隣企業従業員の子供を預かる保育園を設置。多くの企業、工業団地等への通勤道路である立地を生かして、藤枝、焼津、島田、静岡の各市からの通勤途上に子供を預けられることで、働くお母さんお父さんの負担軽減を図っている。

また、保育園の運営は地元保育事業者と連携し、プロによる質の高い保育を維持しつつ、企業主導型の良さである本物の「仕事」との距離の近さを生かし、保育園児と従業員の交流も盛んに行うことにより、「ゼロ歳からのキャリア教育」として、小さい頃から物流現場に触れてもらうことで、将来の業界人材の育成にもなり得ると期待している。



■取組の特徴・効果

育休中の社員からは、安心して出産後の育児に専念でき、また復帰時期や復帰後の生活がイメージできて安心との声があり、園児の募集とともに自社従業員の募集も行うことで、子供を預けて当社に入社というパターンも出てきている。

また、近隣企業と保育園の共同利用契約により、提携企業は「連携保育園あり」というたい文句を求人に活用でき、同じ物流業に勤める従業員の子供もいるため、業界全体の人材の確保や定着、イメージ向上にも貢献ができ始めていると感じている。



企業主導型保育園とは

企業主導型保育園は、待機児童解消のため企業が社員の子供を対象として、事業所や近隣地に設置する平成28年4月から始まった新しい認可外保育園です。国(内閣府)の指導により認可保育園と同等の基準で運営され、自社社員だけでなく近隣提携企業で勤めている方や地域の子供も預かることも可能です。